

令和7年(2025年)版 Yomo Yomo ～10代のあなたに～



鉄道・乗り物



『鉄道へえ～事典 大人もなるほど!』

くりはらかげり 栗原 景／著 いのうえこうだい 井上 広大・米村知倫／イラスト 交通新聞社 2022 年発行

鉄道に関する 177 の言葉がイラストつきで解説されています。鉄道ファンはもちろん、全然くわしくない人も「へえ～」と楽しめます。言葉の意味を知ると、鉄道に関わる人みんなが、乗る人の安全性と利便性を日々追求していることがわかります。目についたページから読んでいくうちに、あなたも鉄道が好きになるかも。



『ヘンな矢印標識』

やまざき がく 山崎賀功／著・写真 自由国民社 2023 年発行

シンプルにわかりやすく、いろいろな規則を表現している道路標識。運転中は一瞬でその意味を理解しなくてはならないのに、複雑なデザインだったら思わず止まって見てしまいたくなります。地方別に面白い道路標識がたくさん掲載されていますので、実際に見に行ってみてはいかがでしょう？

『世界のすごい駅 旅情あふれる珠玉の鉄道駅と地下鉄駅 170 選』

地球の歩き方編集室／編集 地球の歩き方 2022 年発行

世界中のいろいろな駅が写真・解説とともに収録されているので、ページをめくるたびに各国を旅している気分が味わえます。お城のような駅に、ハリー・ポッターの「9と3/4 番線」ホームがある駅、どうしてこんな場所に！？ という駅も。みなさんも読んでぜひ行ってみたい駅を見つけてください。



『100年見つめてきました』

よしの まりこ 吉野万理子／作 かわかみかすお 川上和生／絵 講談社 2023 年発行

「飛行塔」を知っていますか？ 塔からぶら下げられたゴンドラが、塔のまわりをぐるぐる回る大型の遊具です。生駒山上遊園地には、日本に現存する一番古い飛行塔があります。何と今でも現役です！ 飛行塔が約 100 年もの間見つめてきたのは、どんな出来事だったのでしょうか。これは飛行塔が話してくれたお話です。



『駅スタンプ大図鑑 解説付き戦前の印影コレクション』

たなか ひろし 田中比呂之／編著 世界文化社 2023 年発行

駅にスタンプが置いてあるのを見たことがありますか？ 1931 年、福井駅ではじまった駅スタンプが新聞記事になりました。これによって観光名所や名物等、各駅が工夫をこらしたデザインのスタンプが、全国にまたたくまに広まっていきました。この本は戦前の駅スタンプが 400 以上も載っている図鑑です。



『阪急沿線怪談』

うつつろしかたろう 宇津呂鹿太郎／著 竹書房 2024 年発行

関西三大都市の京都・大阪・神戸を結ぶ阪急電鉄。その沿線にまつわる奇妙な体験談を集めた怪談集です。蛸池駅近くで迷い込んだ先に見た荒野と踏切、雲雀丘花屋敷駅から石橋阪大前駅で会った死を呼び込む少年、京都河原町駅近くで見つけた不気味な絵。身近な阪急沿線を舞台に繰り広げられる、ゾッとする怪談の数々。



編集・発行：箕面市立図書館 箕面市立小・中学校図書館
問い合わせ先：箕面市立中央図書館
TEL 072-722-4580 FAX 072-724-9697
発行日：令和7年(2025年)1月



箕面市立図書館
ホームページ

☆YomoYomo は箕面市立図書館の
ホームページからも確認できます。

箕面市立図書館 おすすめの本

検索



『キオクがない!』

いとうみく／作 ひらさわ げ こ 平沢下戸／画 文研出版 2023 年発行

病院のベッドで目を覚ました僕。自転車の事故で意識を失っていたらしい。目は覚めたけど、家族や友達の顔も自分の名前さえもわからない。今までの記憶がすっかりなくなってしまった! 一体、僕はどんな人物だったのだろう。周りの反応をみていると、これまでの僕は、今の僕とはかなり違うようだ。真実が知りたい!



『アインシュタインをすくえ! 時間と空間をこえた8日間』

コーネリア・フランツ／作 わかまつのりこ 若松宣子／訳 スカイエマ／絵
文溪堂 2024 年発行

12歳の誕生日にプレゼントされたドイツからニューヨークへの船旅を楽しんでいたエミリー。ところが突然、100年以上前の別の船にタイムスリップしてしまう。同じく現代から来た少年2人と元の時代に戻る方法を考えるけれど、船が火事になるなどトラブルが続出。同じ船に乗っているあの天才、アインシュタインに頼るしかない!

『並行宇宙でしか生きられない』

わたしたちのたのしい暮らし』

わたなべゆう 渡辺優／著 ホーム社 2020 年発行

他人の常識が自分にとって未知のものだったことはありませんか? まるで違う宇宙のことみたいに。常識とのギャップに悩む著者は、人の顔を覚えるのが苦手で、右と左がわからなくなったり、注射される時に笑ってしまったりするそうですが、視点の面白さは保証付き。

まるで別の宇宙へ行くような発見があるエッセイ集です。



『バスを降りたら』

まし ま 眞島めいり／著 PHP 研究所 2023 年発行

中学受験に失敗した律とその学校に受かった奈鶴。二人はそれぞれ違う事情を抱えていて、通学のバスで見かけた時から互いに気になる存在だった。中学になじめず苦しい気持ちを抱えた少年と、大好きな家庭教師の新たな門出を素直に祝えない少女が、周りとのかかわりを通して成長していく爽やかな青春物語。

『車いすでジャンプ!』

モニカ・ロー／作 なか い 中井はるの／訳 小学館 2023 年発行

エミーはエアジャンプをきめるモトクロス選手に憧れる女の子。車いす生活だけど自分のことは自分でできる。ママが亡くなってからは家事も頑張ってきたのに、スピードの出しすぎで転倒したら、大人たちは介助員をつけると言い出した。「助けはいらない」ことを伝えるには? エミーは「自分らしく声をあげる方法」を友だちと見つけていく。



『ひゃっか!』

いまむらしょうご 今村翔吾／著 角川春樹事務所 2023 年発行

高校入学を機に華道同好会を立ち上げた春乃だが、2年生になっても会員は一人のままだった。「全国高校生花いけバトル」という華道の大会を知り、二人一組で出場するため、パートナー探しを始める。春乃は、謎のイケメン転校生・貴音が華道経験者と知り、猛アタックをかける。百花繚乱、ステージの上で美しく咲き誇れ!

『江戸でバイトやってみた。』

おお え ど 大江戸ハローワーク絵巻物 古地図で歩く大江戸八百八町 萬 職業図鑑』

さくらば ゆ き こ 櫻庭由紀子／著 くろしまあきら／絵 技術評論社 2023 年発行

学校生活に悩む高校生七緒は、ある日ひょんなことから江戸時代にタイムスリップしてバイト三昧の生活に! 茶屋や小間物屋で働いたり、講釈師の代理で高座に上がったり。170年前の江戸と令和の東京での、七緒や周りの人々の暮らしが生き生きと描かれていて、自分でも明日から江戸の町で働けそうな気になる本です。

